



マーケット動向： 2023年2月6日から2月10日までの動向

「主要国」

	過去3か月の推移	2月6日~2月10日		2月10日	前週比		先週の動き	
		高値	安値		騰落幅	騰落率		
株 価	日経平均株価		27,821.22	27,424.69	27,670.98	+ 161.52	+ 0.6%	日銀が早期に政策修正に動くとの思わくが後退し、週初は買いが広がったものの、前週末発表の米雇用統計で雇用者数の伸びが予想を大幅に上回ったことなどを受け、米利上げの早期停止観測や年内の利下げ期待が後退し、米株とともに売りに押される動きに。
	JPX日経400		18,068.74	17,831.82	17,951.69	+ 170.80	+ 1.0%	
	NYダウ		34,252.57	33,591.99	33,869.27	- 56.74	- 0.2%	
	ドイツ DAX指数		15,658.56	15,246.39	15,307.98	- 168.45	- 1.1%	

(変化幅、%)

国 債 利 回 り	日本 (10年)		0.500	0.485	0.500	+ 0.020	日銀総裁の後任人事をめぐる報道を受け、金融緩和策を修正するとの思わくが強まり、週末に国内の10年債利回りは0.5%まで上昇。米10年債利回りは経済の底堅さを示す経済統計の発表が相次いだことや、翌週発表の消費者物価指数 (CPI) への警戒から上昇。
	米国 (10年)		3.749	3.534	3.732	+ 0.207	
	ドイツ (10年)		2.399	2.219	2.364	+ 0.171	
	豪州 (10年)		3.749	3.446	3.706	+ 0.322	

(騰落幅、円)

為 替 (対 円)	ドル		132.90	129.81	131.36	+ 0.17	米連邦準備理事会 (FRB) が年内に利下げに動くとの観測が後退し、米長期金利が上昇する中、ドル買い・円売りが優勢に。週末は日銀総裁の後任人事をめぐる報道を受け、やや荒れた動きに。ドル買い・ユーロ売りが優勢になり、対円でもユーロは軟調な動き。
	ユーロ		142.99	139.56	140.39	- 1.23	
	豪ドル		91.95	90.23	90.91	+ 0.08	
	カナダドル		98.86	96.64	98.58	+ 0.64	

(騰落幅) (騰落率)

そ の 他	東証REIT指数		1,848.36	1,816.04	1,823.84	- 6.94	- 0.4%	東証REIT指数は、週初は日銀が早期に大規模な金融緩和修正に動くとの思わくが一旦後退し、買いが広がったものの、その後は売りが優勢に。先週末の分配利回りは4.161% (東証上場REITの予想分配利回り、QUICK算出)。NY原油は中国需要回復観測から反発。
	海外リート指数		284.71	276.21	277.05	- 6.66	- 2.3%	
	NY原油		80.33	72.25	79.72	+ 6.33	+ 8.6%	
	NY金		1,902.30	1,863.50	1,874.50	- 2.10	- 0.1%	

「アジア」

	株価	過去3か月の推移	前週比	先週の動き	為替 (対円)	前週比
中国	上海総合指数		- 0.1%	景気の先行きに関し強弱の見方が混在し、小幅下落。	人民元	- 0.1%
香港	ハンセン指数		- 2.2%	米中の緊張に対する警戒感が残る中、下落。	香港ドル	+ 0.1%
台湾	加権指数		- 0.1%	米国の株価が軟調となったことなどで、小幅下落。	台湾ドル	- 1.2%
韓国	総合株価指数		- 0.4%	主要な半導体関連株などが売られ、下落。	韓国ウォン	- 2.7%
インド	SENSEX指数		- 0.3%	新興財閥の不正行為疑惑が残っており、小幅下落。	インドルピー	- 0.7%
シンガポール	ST指数		- 0.7%	金利上昇の不動産部門への影響が懸念され、下落。	シンガポールドル	- 0.4%
マレーシア	KLCIインデックス		- 1.1%	景気の先行き不安は払しょくできず、下落。	マレーシアリンギット	- 1.6%
インドネシア	ジャカルタ総合指数		- 0.5%	米欧の株価軟調を受け慎重姿勢が強まり、下落。	インドネシアルピア	- 1.5%
タイ	SET指数		- 1.4%	前週末までの株価上昇の後、利益確定売りで、下落。	タイバーツ	- 0.8%
フィリピン	総合指数		- 2.1%	国内インフレ率の高止まり懸念などから、下落。	フィリピンペソ	- 1.2%
ベトナム	VN指数		- 2.0%	米国の利上げ停止期待が後退する中、下落。	ベトナムドン	- 0.4%

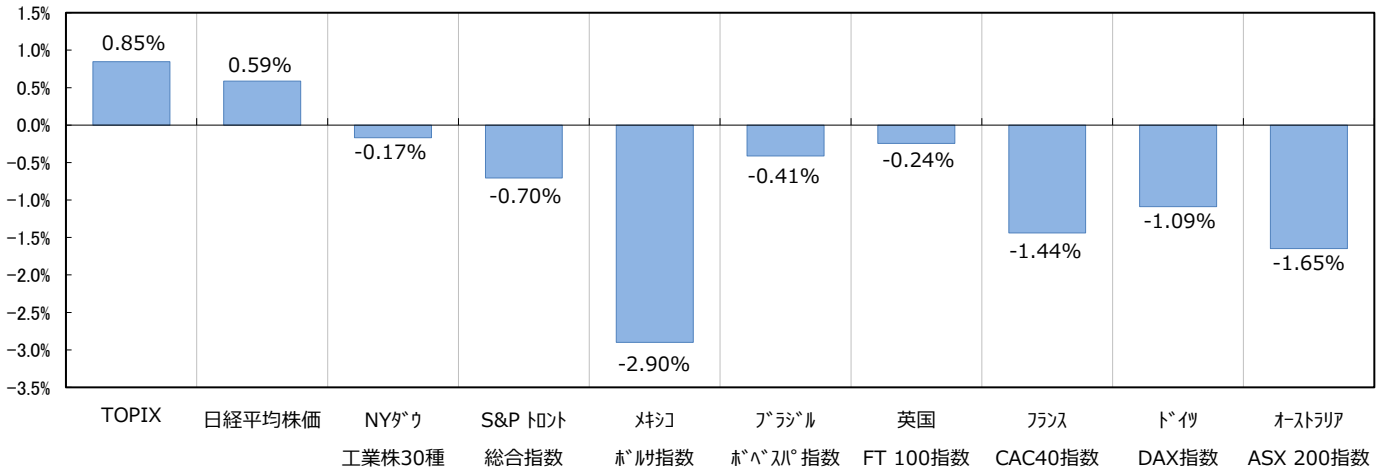
(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用。海外リートはS&P先進国 REIT指数 (日本を除く、円ベース)。高値、安値については、海外リートは終値、その他はザラ場ベース
 NY原油はニューヨーク商業取引所 (NYMEX) のWTI先物。NY金はニューヨーク商業取引所 (NYMEX) COMEX部門の金先物
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

※ 最終頁の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

I. 株 価

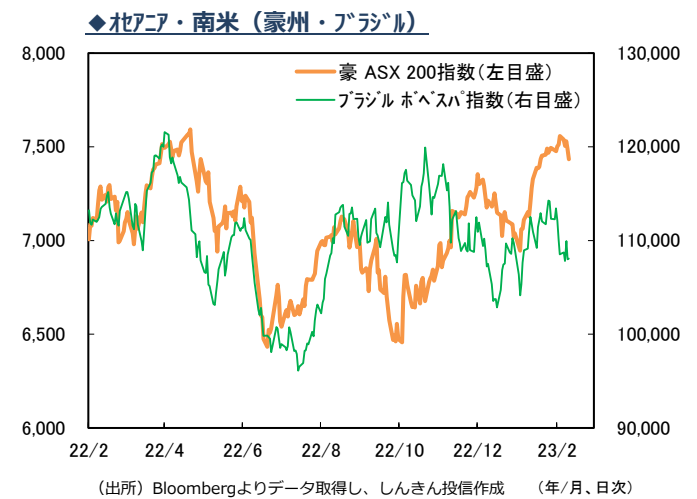
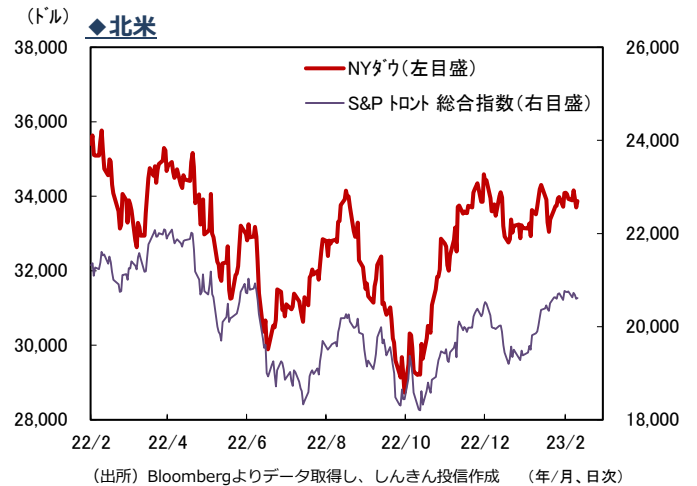
1. 各国の株価指数（騰落率）

騰落率(2023/2/3→2023/2/10)



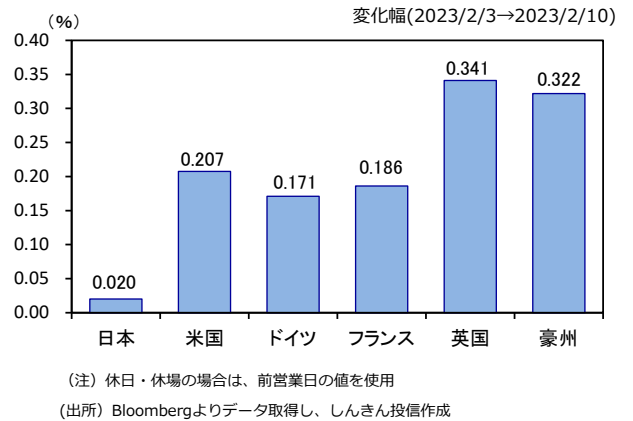
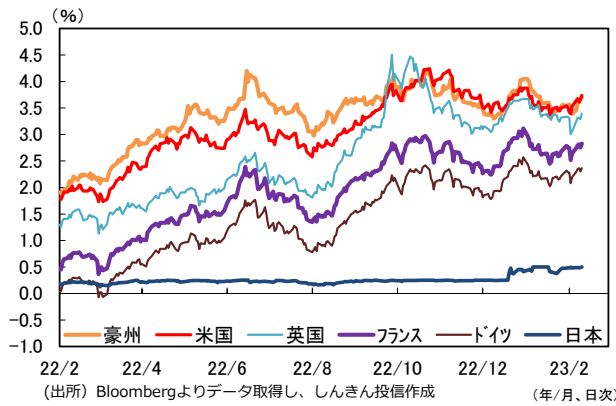
(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. 各国の株価推移

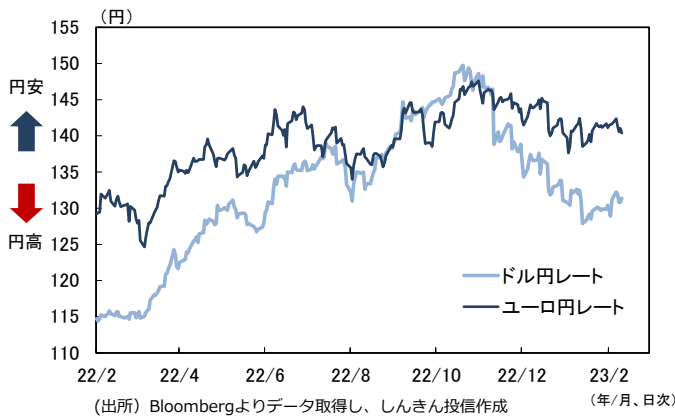


Ⅱ. 債券・為替

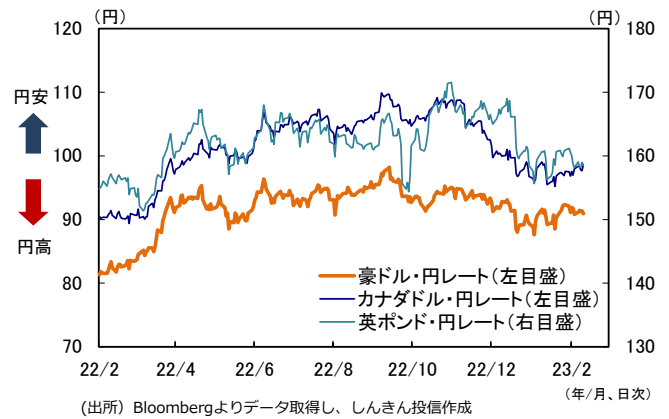
1. 主要国の10年債利回り



2. ドル円、ユーロ円

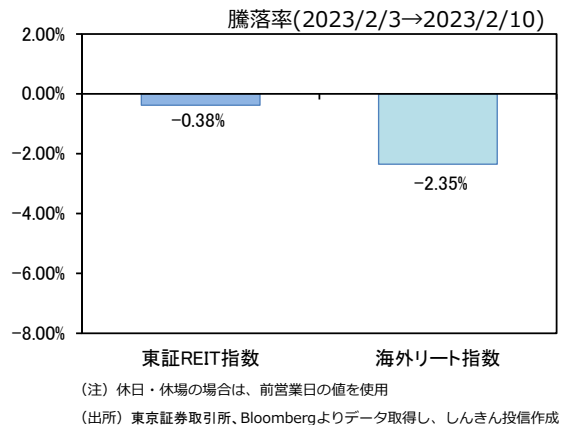
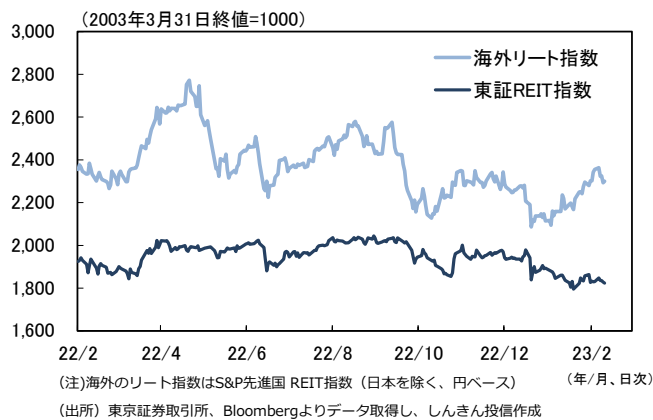


3. 豪ドル・円、英ポンド・円、カナダドル・円

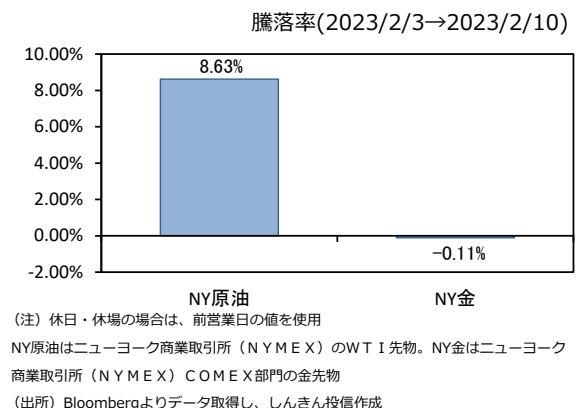
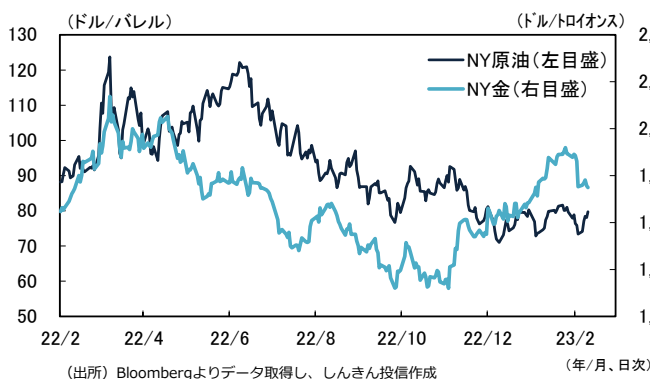


Ⅲ. リート・商品

1. 日本と海外のリート市場

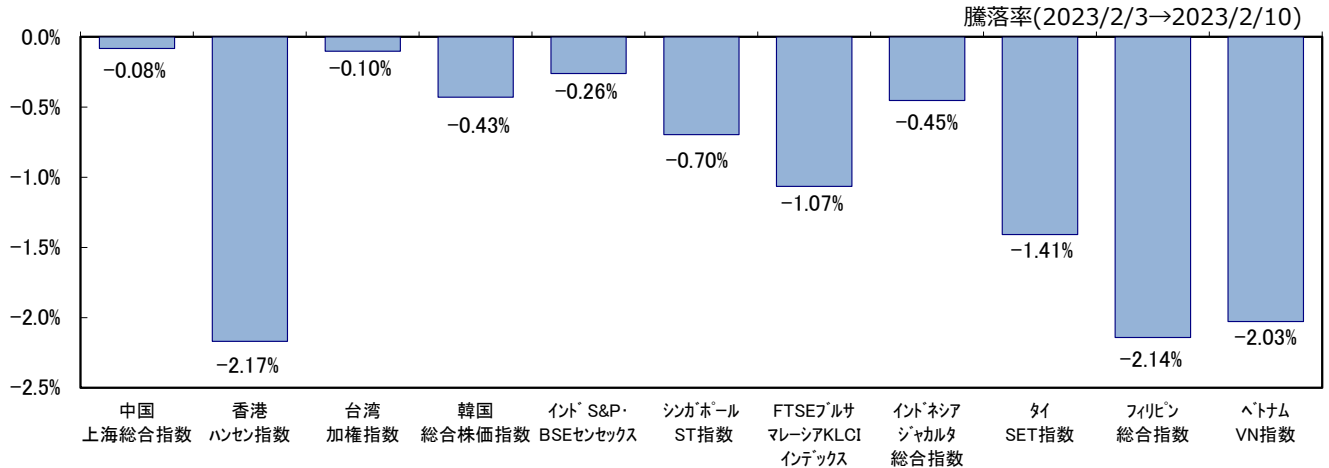


2. 原油、金



IV. アジア株

1. アジアの株価指数（騰落率）

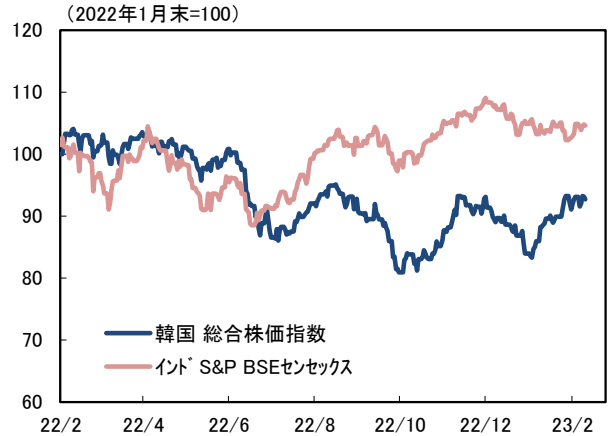


(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

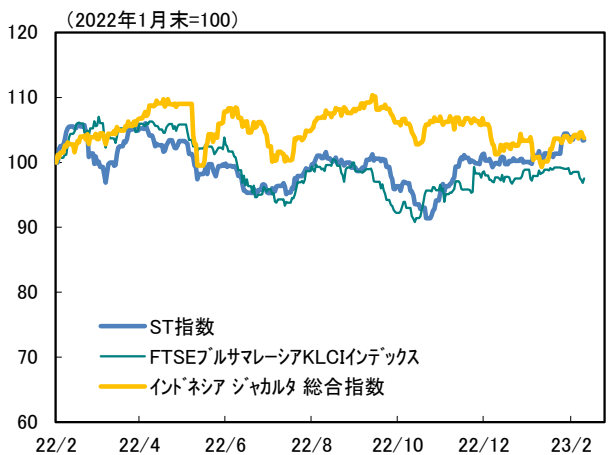
2. アジア株の推移



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

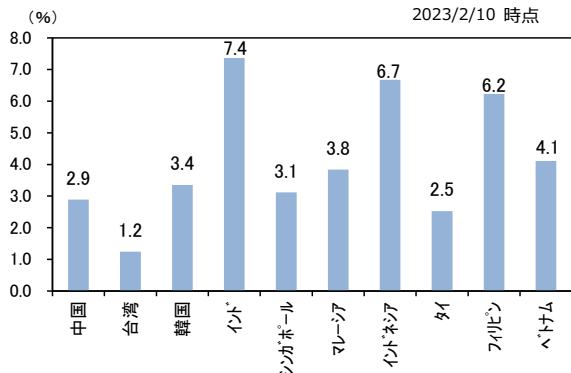


(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
 (出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

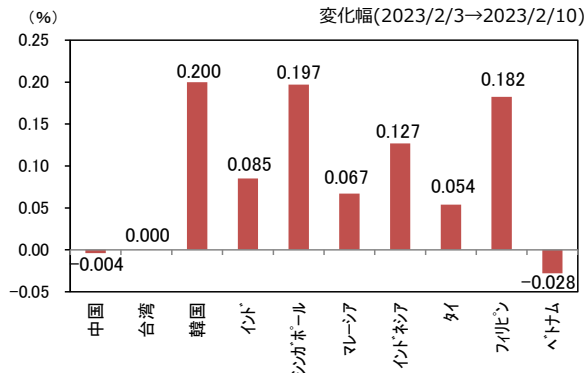
※ 最終頁の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

V. アジア長期金利と政策金利

1. アジアの10年債利回り

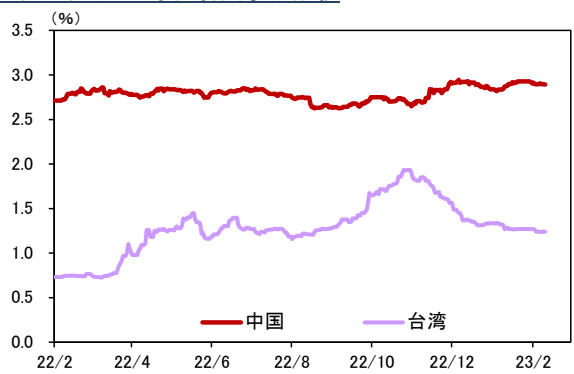


(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

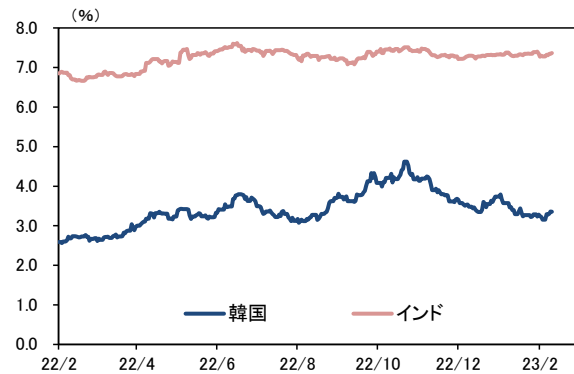


(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

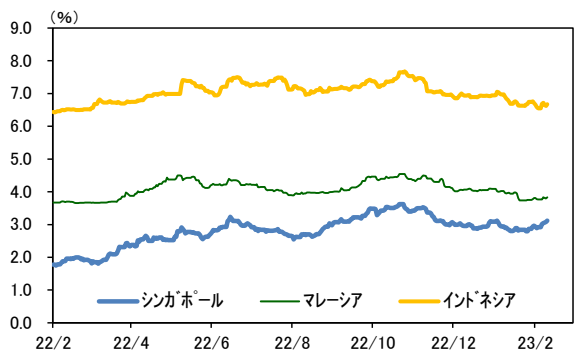
2. アジアの10年債利回りの推移



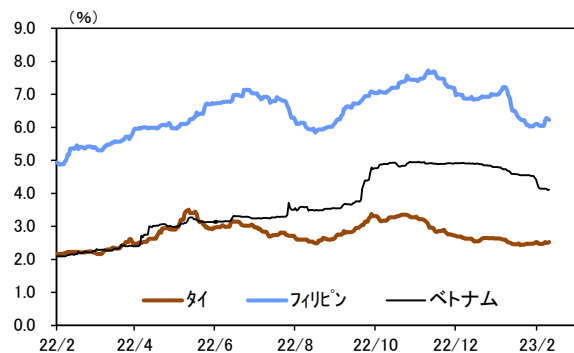
(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

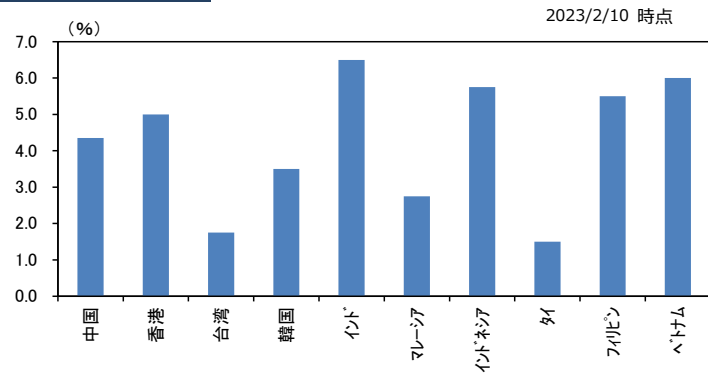


(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用 (年/月、日次)
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

3. アジアの政策金利



(注) 休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

	政策金利 (単位：%)	
	政策金利	(前回)
中国	4.35	(4.60)
香港	5.00	(4.75)
台湾	1.750	(1.625)
韓国	3.50	(3.25)
インド	6.50	(6.25)
マレーシア	2.75	(2.50)
インドネシア	5.75	(5.50)
タイ	1.50	(1.25)
フィリピン	5.50	(5.00)
ベトナム	6.00	(5.00)

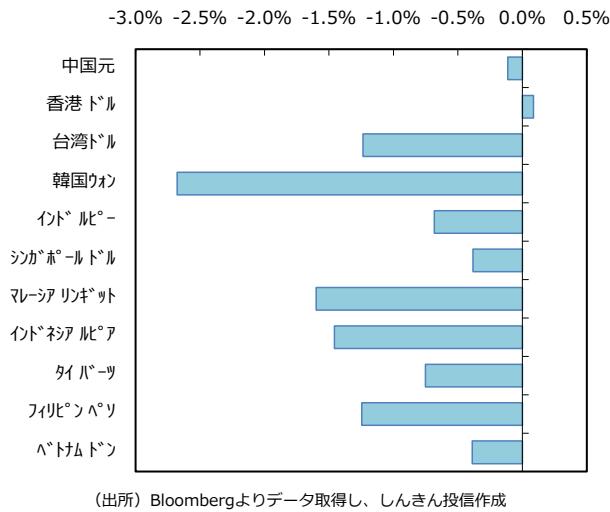
(注) 中国は1年物基準貸出金利、ベトナムはリファイナンス金利。シンガポールは外国為替相場を金融政策の手段としており、政策金利はない。

※ 最終頁の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

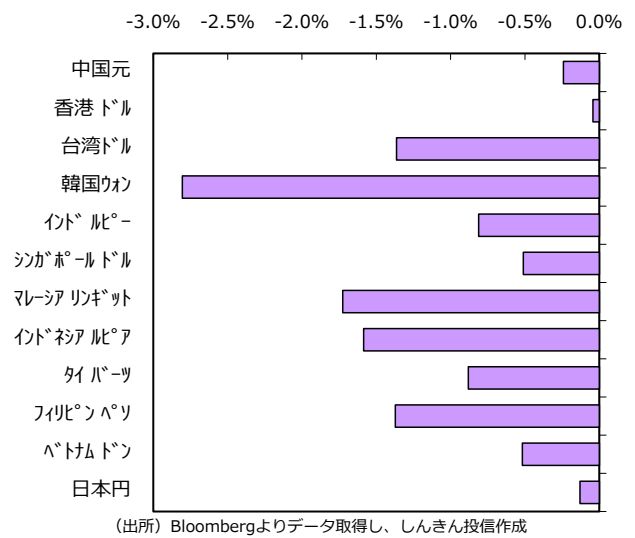
VI. アジア為替（対円、Bloombergベース）

1. 前週比

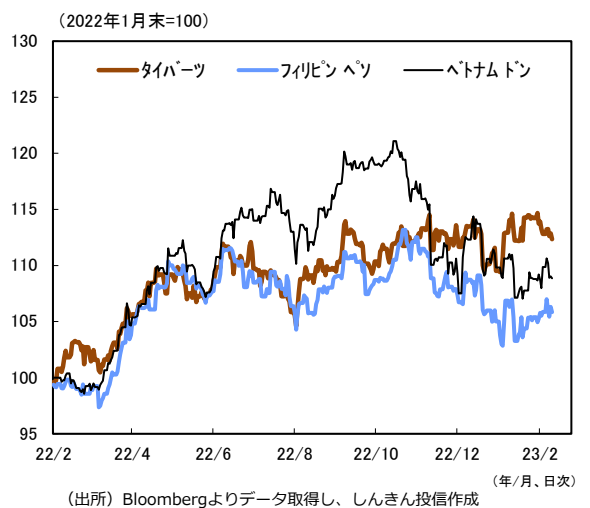
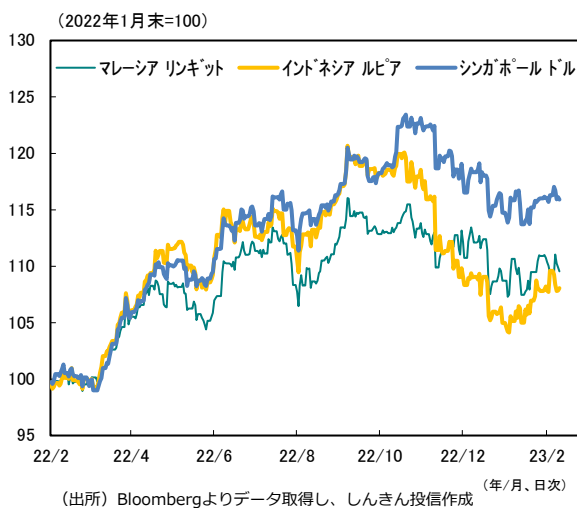
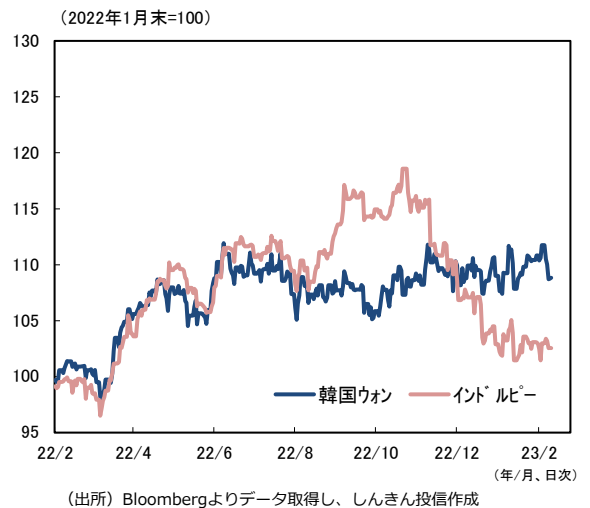
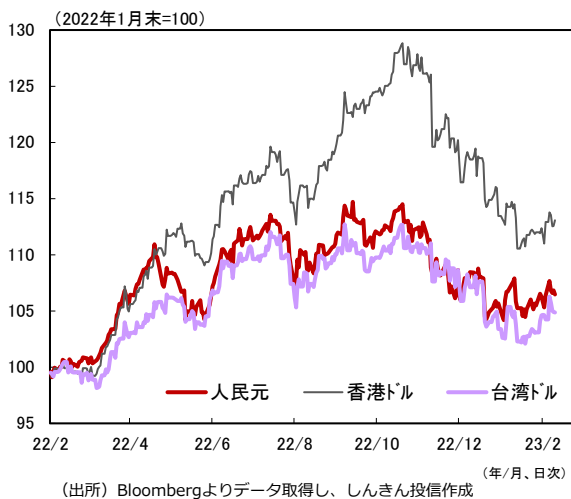
対円での変化率（2023/2/3→2023/2/10）



対ドルでの変化率（2023/2/3→2023/2/10）



2. アジアの為替の推移（対円）



(2023. 2. 13 作成)

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。



<本資料に関してご留意していただきたい事項>

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

◆ご購入時の費用…購入時手数料 **上限3.3%(税抜3.0%)**

◆ご換金時の費用…信託財産留保額 **上限0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

◆運用管理費用(信託報酬)…純資産総額に対して、**上限年率1.628%(税抜年率1.48%)**

◆その他の費用…監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。